



## 新しい年を迎えました

昨年は、世界的にも大きな出来事がたくさんありましたが、日本にとっても、これまでに経験したことのない事態にみまわれました。特に、3月11日の東北地方太平洋沖地震では、多くの犠牲者を出すことになりました。それに伴い、学校としての危機管理体制についても見直しの必要性が出てきました。草津・庚午南地区は、土地の低い地区でもありますので、緊急の課題としてまいります。

ただ、昨年を表す漢字が「絆」だったように、多くの人々の結びつきを感じることができました。今年は、平穏な年となることを願っています。

### 地域との結びつき

先月号で、地域の力ということをお伝えしました。12月には、4年生は「かきうちの見学」に、2年生は「まちたんけん」に行きました。

4年生の感想には、かきうちのスピード、その技に驚いたことがしっかりと書かれていました。

2年生は、保護者の方にお世話になり、グループごとに、公共施設、お寺、お店などを巡りながら、地域を探検しました。

各学年とも、地域に出向き、地域の方々にお世話になりながら、草津を愛する心が育っています。

今月の27日（金）には、1年生が、地域のおじいさん、おばあさんに昔の遊びを教えてもらう「ふれあいのつどい」が体育館で行われます。毎年、100名近い方々に来ていただく草津ならではの行事となっています。

### 高齢者訪問

日頃、地域にお世話になっているお返しに、民生委員の方々とともに、6年生が自作のカレンダーを配付しました。高齢者の方の家を1軒1軒まわりました。喜んでいただいたことを聞き、少しでもお礼ができたと思っています。



【かきうち場の様子】



【まちたんけん 公民館】

### 都道府県対抗男子駅伝の応援メッセージのぼり作製



1月22日（日）に開催される第17回 全国都道府県対抗男子駅伝競走大会に向けて、今年も6年生が「小学生応援メッセージのぼり」を作製しました。今年には、「島根県」と「茨城県」を応援するのぼりをつくりました。児童たちはご当地キャラクターを調べ、各県を応援するメッセージをかきました。これを機会に、広島県を応援する際に、同じ中国地方の「島根県」と地震で被害の大きかった「茨城県」を一緒に応援してみませんか。

毎年、草津小の運動場が選手の待機場所となっています。沿道に出での応援をしてみてもどうでしょう。